

Press release
報道関係各位

2018年11月27日
i Smart Technologies 株式会社
ミツイワ株式会社

i Smart Technologies とミツイワ、新たな IoT 製品を共同開発、 既存の設備の IoT ファクトリー化を低コストで実現

～VANTIQ のプラットフォームを活用、エッジ型サイクルタイムモニターを開発～

i Smart Technologies 株式会社（本社：愛知県碧南、代表取締役：木村哲也、以下 iSTC）とミツイワ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：羅本礼二、以下ミツイワ）は本日、iSTC が開発した古い設備でも IoT 導入可能なモニタリング技術「サイクルタイムモニター（CT モニター）」をさらに進化させ、ミツイワが提供する VANTIQ のリアルタイム・イベント・ドリブン型アプリケーション（EDA）の開発プラットフォーム技術を融合した新たなエッジ型（*）CT モニターを共同で開発することを発表しました。

これにより企業は、できるだけコストを抑えつつオンプレミスで強固なセキュリティを確保した IoT 導入が、低コストで迅速にできるようになります。新たなエッジ型 CT モニターは、2018 年度内の完成を目指します。

* エッジ型：データ取得のみではなくデータ処理も行うこと

■ 開発の背景

iSTC が自社開発した CT モニターは、クラウドを利用したシンプルな性能を持った機器で、古い製造設備でも低コストで IoT の導入が実現できるため、既に国内約 200 社の企業で活用されており高い評価を得ています。一方、クラウド型で無線を活用する CT モニターに対し、自社のデータをクラウドにあげることを躊躇する企業も多く、よりセキュリティ的に強固なオンプレミス型で有線を利用した CT モニターに対する要望も多くありました。

■ オンプレミス型の IoT 導入を低コストで実現

こうした要望に応えるため、iSTC とミツイワは両社共同で、ミツイワが本年 10 月に業務資本提携した VANTIQ 社のリアルタイム・イベント・ドリブン型アプリケーション開発プラットフォーム「VANTIQ」を活用したエッジ型 CT モニターを共同で開発します。VANTIQ は、企業の財産である生産設備データをクラウドにあげずにリアルタイムでのデータ処理ができるだけでなく、開発生産性が極めて高くカスタマイズの容易性も備えており、企業の求める性能にも柔軟に対応することが可能です。

CT モニターによるデータ収集技術と、リアルタイム・イベント・ドリブン型アプリケーションを簡単に開発できるプラットフォーム技術の融合により、企業の IoT 活用の幅が飛躍的に広がり生産ラインの改善が迅速にできるようになります。

■ エッジ型 CT モニターのメリット

- ・ 既存の古い設備がそのまま利用できる
- ・ 低コストで迅速な開発

- ・ オンプレミス型で有線の IoT データ収集・処理
- ・ データ収集・処理のカスタマイズ可能
- ・ 企業の求める性能に柔軟に対応

エッジ型 CT モニターの生産設備導入時は、VANTIQ 社本社の技術者が開発支援で参加することも決まっており、導入から運用まで iSTC、ミツイワ、VANTIQ の三社が連携して企業の IoT 実現を強力に支援するサービス体制を整えています。

iSTC の代表取締役、木村は今回の共同開発について以下のように述べています。

「i Smart Technologies は製造設備の状況をリアルタイムで収集・処理するサービスにより生産性の向上に貢献します。これは EDA そのものであり、VANTIQ 社のコンセプトと一致します。また、現在は基本的なデータ収集・処理に特化しておりますが、お客様から多くご要望を頂くさまざまな種類のデータ収集にも VANTIQ 社の技術を活用することで柔軟に対応可能になります。これによりさらに多くの製造現場でのデジタルトランスフォーメーションを推進できると確信しております。」

ミツイワの代表取締役社長、羅本は iSTC との提携について次のように述べています。

「iSTC 社のモニタリング技術は、既に多くのお客様の生産設備に導入され実績を上げている信頼性の高い技術です。その技術を VANTIQ と組み合わせることで、あらゆる規模の生産設備を IoT ファクトリー化することができるようになります。今回の提携で開発するエッジ型 CT モニターがより多くの製造業をはじめとするお客様の生産性を向上し、激変する国際情勢の中における日本企業の競争力を高めることに寄与できればと考えています。当社は今後も VANTIQ というリアルタイム・イベント・ドリブン型アプリケーション開発プラットフォームを使って、日本が目指す『Society5.0』および『データ駆動型社会』の効率的な実現に向けて尽力してまいります。」

<i Smart Technologies について>

i Smart Technologies 株式会社（所在地：〒447-0035 愛知県碧南市中山町 7 丁目 26 番地）は、ラインの生産数・停止時間・サイクルタイムなど現場で必要な情報を IoT ソリューションの活用によりリアルタイムに自動検出・見える化する Factory IoT システム「製造ライン遠隔モニタリングサービス」の開発と提供を行っています。同サービスは、時間の掛かるデータ収集を自動化し改善活動のスピードをアップします。グループ会社の旭鉄工株式会社（www.asahi-tekko.co.jp）において 80 ラインで平均 34%の時間当たり出来高向上と、4 億円の設備投資、更には年間 1 億円以上の労務費削減を実現済みです。既に中小企業を中心に 180 社以上でのモニタリング実績もあります。また、豊富なデータ分析と改善の経験を生かしお客様に改善のアドバイスをする「データ分析サービス」やデータを使った効率的な「コンサルティングサービス」も提供しています。現場で鍛え上げられたソリューションとノウハウによりお客様の生産性の向上を支援します。

<ミツイワ株式会社について>

ミツイワ株式会社（所在地：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-15-6）は、1964 年 7 月の創業以来 50 年以上に渡り、お客様ニーズへの対応を積極的に図りながら、ICT システムにおいては企画、構築からサポートまでトータルに対応できる体制を築いてきました。1981 年の電子デバイス事業への進出以降、ICT サービス事業と電子デバイス事業を 2 つの柱にお客様とともに成長し、それぞれのフィールドで多くのお客様から厚い信頼を頂いています。近年では、スマートファクトリー事業、IoT ソリューション事業、エネルギーソリューション事業、ミャンマー連邦共和国での ICT サービス

事業の展開など新規分野へも積極的に取り組み、さまざまな企業規模、業種のお客様に向けて包括的なサービスを展開しています。詳しくは <https://www.mitsuiwa.co.jp/> をご覧ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

i Smart Technologies 株式会社 広報担当

TEL（代表）：0566-93-5100

お問い合わせフォーム：<http://istc.co.jp/form/index.html>

ミツイワ株式会社 総務部 広報チーム

TEL（代表）：03-3407-2181

お問い合わせフォーム：<https://www.mitsuiwa.co.jp/inquiry/>